



べにまる

「輝きを未来に」

- 自ら学ぶ子 ○思いやりのある子
○最後までやりぬく子 ○体をきたえる子

令和5年8月31日

発行責任者 三和 史朗

時代の変化に合わせる力

校長 三和 史朗

先日見ていたテレビ番組で「いつの間にか消えていったもの」を特集していました。時代の変化によって、使われなくなったり、別なものに置き換わっていったりしているものの紹介です。ランキング形式でおもしろおかしく構成されていましたが、それらは時代の変化の象徴ともいえます。特にわかりやすかったのは下のドリンクのことです。

昭和は「24時間戦えますか？」というキャッチコピーで、モーレツサラリーマンのイメージ。平成は「翼をさすける」というエナジードリンク。令和になると「チルする？」のリラクゼーションドリンクが売れている。元号と合わせる必要はあまりないのかもしれませんが、このドリンク市場の変遷は、働き方の変化に対応しているといえます。

そして、子どもたちの学習環境や、求められる資質・能力も同様に変化してきています。自分たちが子どもの頃受けた授業や、求められる力は今でも同じものもあれば、変わってきているものもあります。学校や家庭はそうした時代の変化に合わせて、子どもたちの学習を手助けしていかなくてはいけないと考えます。

新しければ、なんでも良いとはかぎりません。何が大切かを考え、判断することが求められるのです。



※各社ホームページより引用

9月行事予定

1日(金)	休養日(5年)	人権教室(3・4年)	19日(火)	フッ化物洗口
5日(火)	フッ化物洗口		20日(水)	児童会役員選挙
11日(月)	ルスツふるさと給食まつり(～15日)			食育(3年)
	草の根教育実習(～15日)		22日(金)	読み聞かせ(朝)
12日(火)	芸術鑑賞会	フッ化物洗口	23日(土)	秋分の日
13日(水)	クラブ	避難訓練	25日(月)	読み聞かせ(放)
14日(木)	4時間授業(1～3年生)		26日(火)	フッ化物洗口
18日(月)	敬老の日		27日(水)	全校朝会(認証式)

夏休み作品展

8月21日（月）～25日（金）に夏休み作品展を行いました。触ってもよい作品と触らないで見る作品に分けて展示しました。触ってもよい作品では、実際に体験して遊ぶことができたり、冊子にまとめた自由研究の中身を読んだりして、楽しみました。触らないで見る作品でも、工夫している様子や作品のアイデアに触れることができ、次に作品作りに取り組むときのヒントを得ることができたようです。



秋の遠足

8月25日（金）に予定していた秋の遠足ですが、熱中症が心配される高温が続いたため、28日（月）に延期となりました。1～4年生は距離を変えてサイクリングロードを中心に歩いてルスツふるさと公園に行きました。5・6年生は、行きもスクールバスを利用し、真狩村の道の駅から真狩河川公園まで歩きました。帰りは全学年スクールバスを利用しました。食中毒も心配されたため、お弁当は学校で保管し、学校に帰ってから食べました。時間も短くなってしまいましたが、子どもたちが楽しみにしていた遠足を実施することができてよかったです。



草の根教育実習

9月11日（月）～15日（金）の5日間、北海道文教大学人間科学部こども発達学科3年の後藤 新奈（ごとう にいな）さんが草の根教育実習を行います。1～5年生には1日ずつ午前中、午後は毎日6年生教室に入ります。



留寿都村教育委員会
Instagram です。

養父市姉妹都市交流

留寿都村の姉妹都市である養父市から7月25日から3日間児童4名が来て6年生7名と交流しました。留寿都村からは、同じ6年生7名が8月1日から4日間養父市へ交流に行ってきました。新型コロナウイルスの関係で4年ぶりの実施となりました。

